# Environment

# 地球環境の未来と共に

シップヘルスケアグループが事業活動を継続していくうえで、気候変動をはじめとする環境問題への対応は経営における重要な課題であると捉えています。私たちは事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組むと同時に、環境に配慮したサービスを展開することで、地球環境の未来と共に持続可能な社会の実現を目指してまいります。

**注力アクションテーマ**

- 廃棄物の削減
- 循環型モデルの推進
- 天然資源の節約



## 廃棄物の削減

「生命を守る人の環境づくり」のミッションの下、持続可能な医療提供体制を実現するため、メディカルサプライ事業では医療機関における医療材料管理を行うSPDシステムを提供しています。SPDシステムによる適正な在庫管理・供給により、医療現場や物流の効率化に貢献すると同時に、医療廃棄物の削減にも貢献しています。

### SPDによる適正な材料管理

#### 医療材料管理・供給のIT化により医療廃棄物削減へ貢献

医療機関で使用される大量の医療材料はそれぞれ使用頻度や使用期限が異なり、厳正な管理を必要とします。また、医療機関は常に最良の医療を提供するために余裕を持った在庫を確保することが多く、過剰在庫から出た使用期限切れの医療材料などの廃棄物は、病院経営を圧迫する課題であるとともに、環境にも負荷がかかります。

当社グループが展開するSPDシステムは、ITを活用した管理によって、適正な在庫管理・供給を実現し、廃棄の抑制にも寄与します。さらに、業界で初めてRFIDを活用したSPDを展開し、医療材料に貼付したタグで「いつ・どこで・誰が・誰に・何を・どの治療に使ったのか」のデータを紐づけることで、医療材料のトレーサビリティやサプライチェーンマネジメント(SCM)※の最適化も実現します。適時適切かつ効率的な医療材料供給を通して、環境にも配慮した医療提供体制の構築に貢献しています。

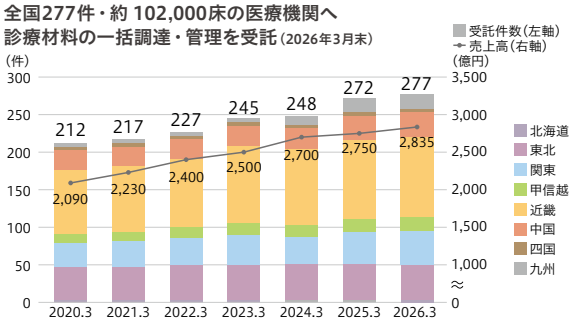
#### 医療従事者の負担軽減・安定的な医療提供に貢献

医療従事者の皆様にとって、医療材料管理をはじめとした医療行為以外の多岐にわたる業務は、負担が大きいものです。慢性的な人手不足に対して具体的な改善策が求められる中、良質で持続可能な医療を提供するためには業務効率化が喫緊の課題です。当社グループのSPDサービスでは、医療従事者の皆様に代わりITを駆使した高付加価値な医療材料管理サービスを提供。正確かつ迅速な在庫管理を通じて医療現場を支援し、医療に集中できる環境を作り出しています。また、当社グループの医療材料保管庫は災害時の医療材料供給拠点としても機能し、医療のBCPにも貢献しています。

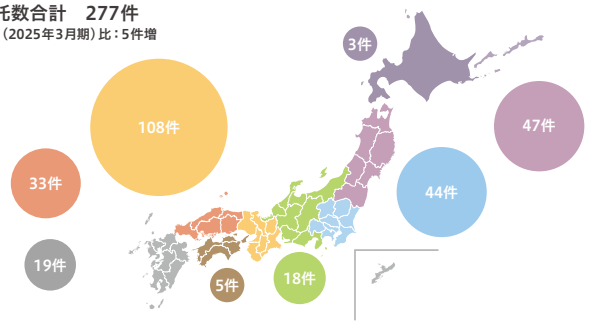
※SCM：自社内あるいは取引先との間で受発注や在庫、販売、物流などの情報を共有し、原材料や部材、製品の流通全体の最適化を図る管理手法。

**KPI　SPD受託件数**

**全国277件・約102,000床の医療機関へ診療材料の一括調達・管理を受託**（2026年3月末）




**受託数合計　277件**
前期（2025年3月期）比：5件増



# 循環型モデルの推進

ヘルスケアのトータルプロデュース企業としてさまざまな事業を展開する中、私たちは多くの資源を利用しています。省エネルギーや廃棄物削減を通じて環境負荷の低減に取り組むとともに、使用済み資材や梱包材料などの資源を有効活用し、新たな価値へとつなげる循環型モデルの構築を推進しています。事業活動を通じて、資源循環と社会課題の解決の両立を目指してまいります。

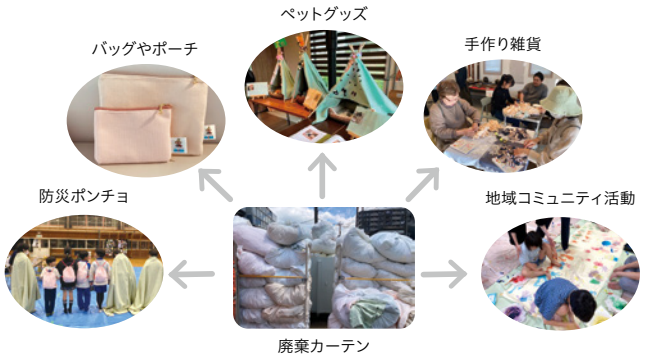
## 廃棄カーテンを社会価値へつなぐ「カーテンリサイクル活動」

当社グループでは、全国の医療・介護施設向けにカーテンの販売、管理、クリーニングサービスを提供しています。その事業活動の中で多くの使用済みカーテンや端切れ生地が発生しますが、これらは従来、廃棄物として処理されることが一般的でした。そこで私たちは、循環型社会の実現に向けた新たな取り組みとして、廃棄予定のカーテンや製造工程で発生する端切れ生地を再活用する「カーテンリサイクル活動」を推進しています。

本活動では、子ども食堂、障がい者支援団体、動物保護団体、防災活動団体、デザイナー支援団体などへ生地やカーテンを寄贈し、新たな価値を持つ製品や活動へとつなげています。寄贈された生地は、バッグやポーチなどのアップサイクル製品、防災ポンチョ、アート作品、保護動物用の設備や地域コミュニティ活動など、多様な形で活用されています。

2026年3月末時点は116件、廃棄カーテン約1,000枚と130本を寄贈し、約8,433㎡の廃棄ロスを削減しました。今後も資源循環と地域課題の解決を両立する取り組みを広げ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

**[廃材から生まれるさまざまな製品や価値]**




**VOICE**



**「捨てる」を当たり前にせず、新たな価値へつなぐ循環の輪を広げたい**

**キングラン株式会社　経営企画室**
**大川 恵理（本プロジェクト主担当）**

防災カーテンは難燃性のためリサイクルコストが見合わず、以前から検討を重ねながらも実現が難しい状況でした。そこで、「カーテンの廃棄処理にお金をかけて捨てるなら、同じ金額を使ってでもリサイクルをしたほうが良い」という松原社長の考えのもと、なるべくコストをかけず、カーテン生地を必要としてくれる方へ無償で寄贈する取り組みを始めました。譲渡先との関係が一度で終わらないよう、活用用途を提案しながら進めています。

特に印象に残っているのは、寄贈したカーテン生地が大きなキャンバスに見立てられ、障がい者の方の手によってアート作品に生まれ変わったことです。その姿を見たときは、大きな感動を覚えました。今後、施設のカーテンにアート作品が描かれ、施設の「顔」になるなど、さまざまな可能性があると感じています。

今後は、当社グループ全体にアップサイクルの考え方を広げ、廃棄ロスをなくしたい企業と有効活用できる譲渡先をつなぐことで、互いに価値のある循環を生み出していきたいと思います。

**KPI　寄贈件数（2026年3月末）**

**116件**

**リサイクル実績：廃棄カーテン約1,000枚と130本**
**廃棄ロス削減効果：約8,433㎡**

# 天然資源の節約

医療・介護環境がめまぐるしく変動する中、入浴サービスのあり方も大きく変化しています。当社グループでは多様化するご施設それぞれに最適な浴室環境をご提案するとともに、天然資源の節約にも貢献しております。

## アラエルによる湯量削減の実現

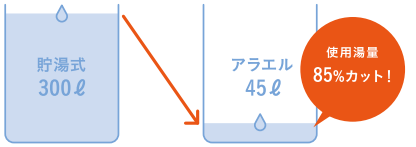
お湯を溜めないシャワー入浴装置のアラエルは、従来の当社個浴タイプの貯湯式浴槽と比べて、85%の湯量削減を実現しています。また、「おまかせ洗身モード」を搭載しており、ボタン一つで全身を洗えます。少ない湯量でしっかりと身体を洗えるのもアラエルの大きな特長で、入浴介助の時間短縮と、介護負担の軽減が期待できます。介助する方にも、介助される方にも快適で衛生的なバスタイムを提供し、発売以来、多くのご施設から好評をいただいています。


シャワー入浴装置 シャワーポッド アラエル


全身シャワーイメージ

**KPI　入浴時の使用湯量**

**1名が3分間入浴した場合の使用湯量を　85%削減**




※当社個浴タイプと比較
※実使用湯量は入浴時間とご利用者の体格により変動

衛生的で健康な暮らしには、良質な水資源が欠かせません。一般的に水資源が豊富だと認識されている日本でも、災害や天候不順、気候変動などによって水の供給が不安定になることも考えられます。当社グループは、限られた湯量でも快適に入浴できる設備の提供を通じて、豊かな水資源の保全にも配慮した浴室環境づくりに貢献していきます。